

令和6年7月に第1回学校評価アンケートを実施しました。児童・保護者それぞれの集計結果を、昨年度7月のアンケートとの比較を中心に掲載します。

1 児童の集計結果

1 児童の自己評価（令和5年度1学期と令和6年度1学期の比較）				
そのように思う A (%)		あまりそのように思わない C (%)		
ややそのように思う B (%)		そのように思わない D (%)		
令和5年度1学期	令和6年度1学期	A+Bの増減		
A+B	C+D	A+B	C+D	R5 1学期との比較
82.31	17.69	83.80	16.20	2
81.66	18.34	83.18	16.82	2
78.76	21.24	82.45	17.55	3
77.18	22.82	78.24	21.76	1
82.82	17.18	87.50	12.50	5
91.51	8.49	91.71	8.29	0
85.71	14.29	81.26	18.74	▲4
93.44	6.56	93.75	6.25	0
89.00	11.00	89.81	10.19	1
83.20	16.80	87.56	12.44	4
77.03	22.97	75.75	24.25	▲1
95.38	4.62	94.00	6.00	▲1
93.45	6.55	93.29	6.71	0
85.83	14.17	86.34	13.66	0
86.90	13.10	89.17	10.83	2
83.17	16.83	84.30	15.70	1
79.92	20.08	82.49	17.51	2
80.96	19.04	80.09	19.91	▲1

▲はマイナス

児童評価の設問	
1	学校へ行くことが楽しい。
2	すすんであいさつや返事ができる。
3	自分にはよいところがある。
4	自分は、困っている友達を手助けしたり、友達のことを考えて行動したりするなど、学級の中で役立っている。
5	先生たちは、あなたのよいところやがんばりをみとめてくれる。
6	学校の行事(入学おめでとう集会やペア学級、自然教室など)は楽しい。
7	児童会の活動や委員会活動には楽しく参加している。
8	そうじや給食などの当番や係活動を一生けんめいに取り組んでいる。
9	みんなと学ぶことは、楽しい。
10	授業は分かりやすく、楽しい。
11	授業では、進んで自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いて参考にしたりするなど、友達とかかわり合いながら学んでいる。
12	約束やきまりを守っている。
13	交通安全やけが・病気に気をつけている。
14	学級に問題があれば、みんなで協力して解決できる。
15	みんなで力を合わせて取り組み、うれしかったことがある。
16	困ったり悩んだりしたとき、相談できる友達がいる。
17	困ったり悩んだりしたとき、相談できる先生がいる。
18	家の人と学校のことをよく話す。

<児童の集計結果の分析と改善策>

- (1) 90%以上の児童が「6学校の行事は楽しい」「8そうじや給食などの当番や係活動に一生けんめいに取り組んでいる」「12約束やきまりを守っている」「13交通安全やけが・病気に気をつけている」と答えています。これらの項目は前年度の調査でも90%以上でした。自分の役割を果たし、ルールをきちんと守って学校生活を送ろうとする児童が多いことが分かります。これからも、子どもたちが楽しく取り組める行事を大切にしていきたいと思えます。
- (2) 「3自分にはよいところがある」「5先生たちは、あなたのよいところやがんばりをみとめてくれる」の割合が昨年度より高くなりました。今後も子どもたちのよいところやがんばりを認め、自己肯定感を高めることができるよう、教育活動に取り組んでいきます。
- (3) 「10授業は分かりやすく、楽しい」の割合が87%を超えていますが、「11授業では進んで自分の意見を発表したり、友達の意見を…」の項目は、75%に留まっています。学級の仲間との関わり合いを通して思考を深め、「できる・わかる・楽しい」を実感できる授業を目指し、授業づくりに力を入れていきます。
- (4) 「7児童会の活動や委員会活動には楽しく参加している」について、割合がやや下がっています。昨年度までは高学年のみの設問でしたが、本年度は全学年の児童に問いました。児童会や委員会活動では、高学年が様々な企画を考え、実行しています。今後も子どもたちが主体的に活動できるよう支援していきます。

2 保護者の集計結果

2 保護者の学校評価（令和5年度1学期と令和6年度1学期の比較）

そのように思う A(%) あまりそのように思わない C(%)

ややそのように思う B(%) そのように思わない D(%)

令和5年度1学期		令和6年度1学期		A+Bの増減 R5 1学期 との比較	保護者評価の設問
A+B	C+D	A+B	C+D		
83.38	16.62	86.23	13.77	▲3	1 学校は教育目標・教育方針を分かりやすく知らせている。
86.06	13.94	90.94	9.06	▲5	2 学校は教育活動に関する情報を積極的に伝えている。(ホームページ・通信等)
91.42	8.58	88.41	11.59	▲3	3 学校は地震、風水害、不審者の対応について子どもや保護者に分かりやすく伝えている。
75.00	25.00	80.07	19.93	▲5	4 学校ではPTA活動が活発で充実している。
82.53	17.47	79.35	20.65	▲3	5 学校は保護者や地域の人たちと接する機会を多く設けている。
85.75	14.25	84.67	15.33	▲1	6 学校の教育活動に保護者や地域の人たちがボランティアとして積極的に参加している。
85.44	14.56	88.00	12.00	▲3	7 学校は施設・設備の充実に努め、それを有効に活用している。
92.76	7.24	94.20	5.80	▲1	8 学校は規則や社会のルールを守る態度を育てようとしている。
91.42	8.58	88.41	11.59	▲3	9 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。
80.16	19.84	78.26	21.74	▲2	10 子どもはすすんであいさつや返事ができる。
94.64	5.36	93.82	6.18	▲1	11 子どもは校外学習や自然教室などの学校行事を楽しみにし、積極的に参加している。
85.98	14.02	83.52	16.48	▲2	12 子どもは授業が分かりやすいと言っている。
90.05	9.95	90.18	9.82	0	13 子どもは西部小学校に信頼できる友達がいると言っている。
82.43	17.57	82.61	17.39	0	14 子どもは気軽に相談できる先生がいると言っている。
93.77	6.23	93.09	6.91	▲1	15 先生は子どものよさを見つけ、認めてくれている。
93.28	6.72	95.29	4.71	▲2	16 先生は子どものまちがった行動を適切に指導してくれる。
90.24	9.76	91.97	8.03	▲2	17 先生は、いじめや問題行動に対して真剣に動いてくれる。
87.30	12.70	88.77	11.23	▲2	18 あなたはお子さんのことについて、気軽に先生に相談できる。
92.83	7.17	93.75	6.25	▲1	19 あなたは学校から出されるあゆみ(通知表)の評価に納得している。(2年生以上)
95.16	4.84	93.45	6.55	▲2	20 あなたはお子さんにあいさつや言葉づかいなどを身に付けさせている。
98.12	1.88	99.28	0.72	▲1	21 あなたはお子さんが約束や社会のルールを守るようにさせている。
90.08	9.92	90.22	9.78	0	22 あなたは家庭で「早寝・早起き・朝ごはん」を実践している。
70.78	29.22	68.84	31.16	▲2	23 あなたは地域で子どもの気になる様子を見かけたら声をかけている。

▲はマイナス

＜保護者の集計結果の分析と改善策＞

- (1) 「2学校は教育活動に関する情報を積極的に伝えている」「8学校は規則や社会のルールを守る態度を育てようとしている」「13子どもは西部小に信頼できる友達がいると言っている」等、11の項目で90%を超える評価をいただきました。今後も積極的に情報を発信し、保護者の皆様が安心してお子さんを通わせられる学校を目指します。
- (2) 「4学校ではPTA活動が活発で充実している」は、ABが5%以上増えました。PTA役員・委員の皆様のご尽力のおかげで、様々な活動が実施できています。また、会員の皆様には朝の旗当番や資源回収等にご協力いただき、感謝申し上げます。今後も一部の方に負担が偏らないように配慮しながら、子どもたちのための活動を続けてまいります。
- (3) 「3学校は地震、風水害、不審者の対応について子どもや保護者に分かりやすく伝えている」「5学校は保護者や地域の人たちと接する機会を多く設けている」は、3%ほど低くなりました。災害に備え、地震や台風に関する情報を、より早く、分かりやすく伝えていくよう努めます。不審者に関しては、児童には学級や一斉下校で注意喚起をしています。保護者の皆様にはメールでお知らせすることを続けていきます。また、子どもたちの健やかな学びを支えられるよう、保護者や地域の皆様との連携をより強くする方策を考えていきたいと思います。
- (4) 「9子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」「10子どもはすすんであいさつや返事ができる」の項目で評価がやや低くなっています。「行くのが楽しい学校」「あいさついっぱい学校」を目指していますが、子どもたちの思いや行動とずれが生じないように、手立てを検討していきます。